

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校教育指導運営事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	02	01	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	佐藤 智子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小学校教職員及び小学校児童	意図	小学校における情報教育の推進及び教育内容の充実を図る。
事業内容	小学校の情報教育の整備、特にパソコン備品等購入による教育内容の充実。			
事業開始から現在までの状況変化	この事業を通し、小学校の情報教育の整備、特にパソコン備品を整え、より効率の良い学習形態が取れるようになった。その結果、児童の情報教育への興味・関心が一層高まり、学習効果が高まっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	①	パソコン備品修理稼働率	100	97.93	100	%	→→ 修繕依頼校数
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	情報機器が使いやすく整備されることにより、様々な教育活動に活用され、学習効果がより一層高まっている。		目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市内のすべての小学校でパソコンが整備され、子どもたちが様々な情報を得ることが容易になった。おもに各教科、あるいは総合的な学習の時間等で情報収集に使用されている。また、そうして得た情報を使って、新聞作りなども行われている。それを継続していく上でも、備品修理やプリンターインクなどの消耗品の整備は必要であり、欠かすことができないものである。				
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		513,125	483,774	528,782			
事業費(b)(円)		513,125	483,774	528,782			
うち一般財源		513,125	483,774	528,782			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	パソコン周辺機器の整備とともに、情報教育の充実を図りたい。	③取組の課題	パソコン使用環境の整備とともに、情報教育の充実を図りたい。
②今年度(H27)に実施した取組	パソコン関連の備品修繕、周辺機器の整備等を積極的に行った。	④今後の改善計画	今後もパソコン周辺機器の整備や修繕に力を入れていくが、できれば情報教育に有効なソフトウェア等も整備していく。